

高津発 日本改革!

ほりぞえ健ニュース

2003年12月号 No. 7
民主党 ほりぞえ健事務所

〒213-0033

川崎市高津区下作延266 エスビル4階
(溝の口駅徒歩2分 高津区役所隣り)

電話 044-855-1479 FAX 044-855-1489

http://www.horizoe.com

E-mail: horiken@horizoe.com

ひだか剛氏、神奈川18区(高津・宮前)で当選! 川崎市議会議員 ほりぞえ健

小選挙区得票状況		得票数		計	得票率		
		高津	宮前		高津	宮前	
ひだか 剛	(民主)	64,879	29,732	35,147	38.0%	36.3%	39.5%
やまぎわ大志郎	(自民)	58,001	24,227	33,774	33.9%	29.6%	37.9%
小川 栄一	(無所属)	15,136	10,766	4,370	8.9%	13.2%	4.9%
平田 けいこ	(無所属)	13,267	7,428	5,839	7.8%	9.1%	6.6%
むねた 裕之	(共産)	13,084	6,870	6,214	7.7%	8.4%	7.0%
竹村 英明	(社民)	5,610	2,534	3,076	3.3%	3.1%	3.5%
安済 清雄	(無所属)	875	277	598	0.5%	0.3%	0.7%
小選挙区投票率		計	高津	宮前			
		55.7%	54.4%	56.9%			



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 民主党神奈川第18区総支部副幹事長
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(中学1年)の3人家族

(事務局)

11月9日の総選挙の結果について、どのように評価されていますか?

(堀添)

はい。樋高さんが第18区の公認となったのが9月24日、公示日である10月28日の1ヶ月前でしたから、非常に短い期間の活動でした。公認が決まった日の前日も、旧選挙区である横浜市港北区・都築区で街頭宣伝を行われていたそうですので、選挙区の移動は、まさに晴天の霹靂だったのではないのでしょうか。それにもかかわらず、小選挙区で当選できたということは、全国300小選挙区の中でもトップクラスの結果をだせた選挙であったと思います。

(事務局)

今回の選挙では、有名人がたくさん応援にこられたのも印象的でしたね。

(堀添)

はい。私たちの側は、小沢一郎旧自由党党首をはじめ、田中康夫長野県知事、岡田克也幹事長、枝野幸男政策調整会長、野田佳彦国会対策委員長、そして松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長、浅尾慶一郎参議院議員、平野貞夫参議院議員等々、多くの方々に直接応援していただきました。自民党さんの側も、小泉首相、安部幹事長等、多数の方々が応援にこられていました。そういう意味でも、双方が総力をかけた選挙戦であ

ったと思います。

(事務局)

選挙にあたり、留意された点についてお伺いしたいのですが。

(堀添)

そうですね。今回の選挙戦は、絶対に時間が不足していましたので、焦点を絞り集中的な活動が必要でした。とくに私たちが訴えたのは、まず第1に今回の総選挙は、政権交代の選挙であり政策選択の選挙であるということです。マニフェストを軸に、民主党が政権を担った場合、私たちの暮らしがどのように変わるのかについて具体的にアピールしました。マニフェストだけでも街頭を中心に万の単位で配付しましたが、特徴的だったのは有権者の方がとりに来ることが非常に多かったという点で、政権選択、政策選択の選挙ということに関心が集まっているのを実感しました。

第2に、樋高候補は松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長の後継者であり、ともに政治改革を進めてきた同志であるということ強調しました。高津区についていえば、自民党をはじめ他党支持者の中にも松沢知事の支持者は少なくありませんので、仮に比例は他党であったとしても、小選挙区では樋高候補に投票してほしい、というお願いをさせていただきました。

第3に、樋高候補を直接有権者に見ていただく機会を徹底的につくっていった、ということです。私たちも驚いたのですが、じかに樋高候補に会っていただくと、ほとんどの方が「樋高ファン」になっていたのです。時間的に限られた中ではありましたが、街頭や商店街、公園等の方が集まる場所に出向き、直接的なコミュニケーションの機会を多く持つことに留意しました。

(事務局)

比例区の方の状況はいかがだったでしょうか。

(堀添)

前回2000年の総選挙における民主党と自由党の得票率の合計は42.1%、今回は42.2%ですから、

比例区得票状況	得票数			得票率		
	計	高津	宮前	計	高津	宮前
民主党	73,026	33,786	39,240	42.2%	40.8%	43.5%
自由民主党	53,700	25,285	28,415	31.1%	30.6%	31.5%
公明党	24,308	12,612	11,696	14.1%	15.2%	13.0%
日本共産党	13,986	7,293	6,693	8.1%	8.8%	7.4%
社会民主党	7,838	3,758	4,080	4.5%	4.5%	4.5%

(堀添) 前ページからの続き

残念ながら合併の相乗効果を大きく実現できるところまでには到達できなかった、というのが実態だと思います。自民党は前回の20.3%が31.1%へと躍進しており、公明党も13.7%が14.1%に増えています。その分、社民党は10.7%が4.5%に、共産党も13.1%が8.1%にそれぞれ得票率を落としています。相乗効果が大きくなかった原因については今後詳細に分析する必要がありますが、メディアでも報道されていますとおり、自由党に投票して下さっていた有権者に十分なアプローチができていなかったのかもしれない。また、比例での民主党の得票率は、小選挙区での樋高候補の得票率よりも4ポイント強高くなっています。同じ川崎市の選挙区である10区(川崎・幸・中原)では、逆に小選挙区の方が1.8ポイント高く、9区(多摩・麻生)でも小選挙区の方が5.1ポイント高いことを考えますと、準備期間が短かったことの影響が出ているように思います。ただし、実質的に1ヶ月間の活動であったことを考えると、民主党の党本部も言っているように、驚異的なスピードで樋高候補の認知度が上がったということが言えるのではないのでしょうか。

なお、山際候補の得票率は33.9%、比例での公明党の得票率は14.1%です。新聞報道によると、公明党支持者のほとんどは自民党候補に投票しているとのこと

ですので、仮に8割が山際候補に投票したと仮定すると、33.9%のうち11.2%は公明党支持者からの得票ということになります。残りは22.7%、比例での自民党の得票率は31.1%ですので、自民党支持者のうち、3人に1人は小川候補に投票したということだと思います。小川候補が強い地盤を持っている高津区だけで同様に試算しますと、自民党支持者の票の半分は小川候補に投じられている計算となります。

(事務局)

全国的にもいえることですが、自民党候補の当選に公明党支持者が果たしている役割が大きくなっているということでしょうか。

(堀添)

そうですね。高津・宮前でも、公明党支持者からの得票抜きに、山際候補の比例復活当選はなかったと思います。ただし、公明党の政策は、年金問題をはじめ、どちらかといえば私たち民主党の政策に近いようにも思いますので、政権与党の中で公明党の発言権が大きくなることへの評価は、簡単にはくたせないかもしれません。

(事務局)

第18区以外の状況はいかがでしょうか。

(堀添)

解散時、民主党の議席は137議席でしたので、177議席は大躍進といえるかもしれません。しかし、私たちは今回の総選挙を「政権選択の選挙」と位置づけてきましたので、やはりなんとか200議席に近いところまでは持っていきたかった、というのが正直なところ。神奈川県のみですと、解散時11名だった代議士が13名(小選挙区当選8名、比例復活当選5名)へと2名増の結果となりました。選挙区自体が1つ増えたことを考えると、やはりもう一歩、という気がします。ただし、政令指定都市である横浜市と川崎市をみまますと、擁立した候補者の全員を当選(小選挙区当選6名、比例復活当選5名)させることができましたので、この面では大きな成果をあげることができたといえるのではないのでしょうか。

全国的にみても、とくに大都市の選挙区を中心に、かなり競り合って敗れているところが多くありましたので、投票率がもう少し上がっていれば、結果は大きく変わっていたかもしれません。

(事務局)

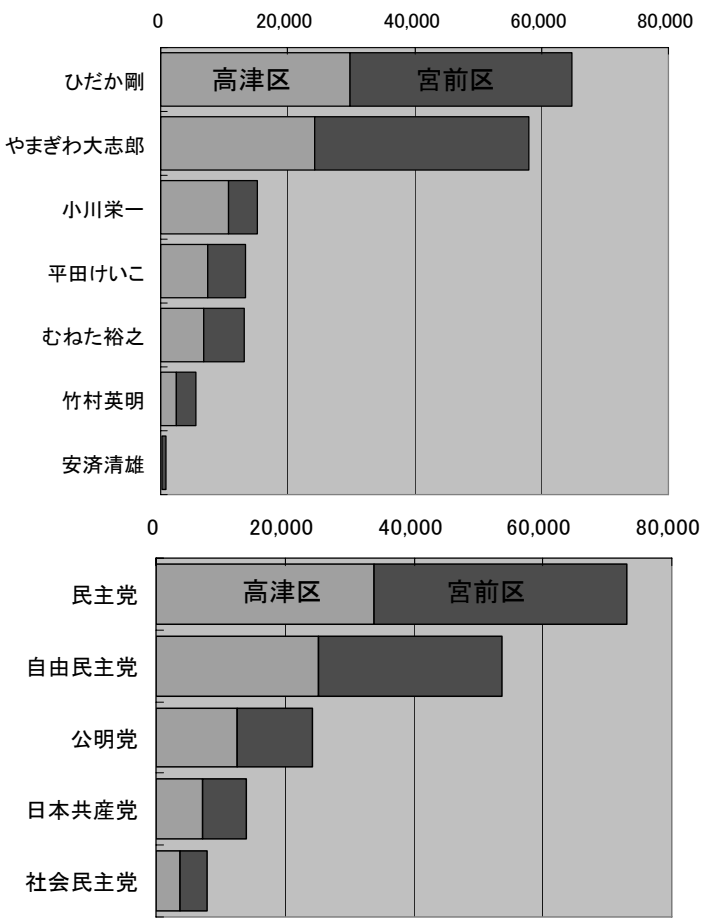
いよいよ来週には臨時国会が開催されます。今後の政局の動向はいかがでしょうか。

(堀添)

保守新党が解党し自民党と合併したこともあり、自民党は単独過半数の議席を確保しましたので、小泉政権が続投することになると思います。しかし、イラクへの自衛隊派遣問題や道路公団等、重要な政治課題が山積している状態であり、展開によってはかなり流動化する可能性も高いのではないのでしょうか。いずれにせよ、日常的に有権者に働きかける活動が重要になってくると思います。また、地方分権の問題でいえば、自民党もマニフェストの中で「4兆円の国庫補助金の廃止・縮減、交付税見直し、税財源委譲」を記載していますので、この動きがさらに加速されることになると思います。現在の補助金行政の仕組み自体に、税金の無駄遣いと利権の構造が埋め込まれていると言っても過言ではない状況がありますので、私も市議会議員の立場から、国政と連携した地方分権、地方主権の推進を行っていくつもりです。

(事務局)

どうもありがとうございました。



「私はこう思う」～選挙戦を戦って、感想と抱負

※紙面スペースの都合により、お寄せいただきましたすべての感想を掲載できないこととお詫び致します。

ボランティアとして K. N(カウンセラー)

初めての国政選挙にボランティアとして楽しく参加することができました。最初は樋高さんが18区に来られて勝てないのではないかと、思っていました。地方議員さん達の活動、地方議員さんたちについている支持者の方々の活動、ボランティアの方々の必勝への思い、私としては本当に敬服する思いです。

また、駅頭などでmanifestoを上にかざしているだけで有権者の方々が「ください」と自ら取りに来てくれる人が多いのには手ごたえを十分感じ取りました。樋高さんの人柄にも皆さん応援したのと、候補者のまわりのスタッフ、ボランティア、支援者の方々の有権者への働きかけが勝利へと導いたのだと思います。

これだけの大掛かりな選挙に参加したのは初めてですが、これからは川崎市の市政などに参加させてもらいながら、私なりに社会貢献できることをしていきたいと思えます。

楽しかったですね T. A(メーカー勤務)

皆様お疲れ様でした。樋高さん当選して良かったですね。自分のお手伝いも多少の役に立ったかなと思ひ、ほっとしています。選挙運動には初めて参加したのですが、予想以上に大勢の人達が活動していることに改めてビックリしました。ビラ撒きでは終盤になるほどmanifestoへの関心が高まるのがわかり、今回の選挙の大事さが伝わりつつあると思ひました？しかし一方では、相変わらず選挙そのものに無関心という人が半数いたのも事実です。電話掛けではこちらの話題へ引き込む難しさを痛感しました。自然体で関心を誘うことができるようになればと思います。もっと大事なのは普段の活動だと思いますから、事務局が溜まり場になっているというのが良いんでしょうね。またお手伝いさせてください。

選挙戦の感想 S. K(ジャズベーシスト)

まず、地元の選挙戦で勝利できてほっとしています。選挙活動にたずさわった方々、大変ご苦労さまでした。しかし、私としては多くの仲間も同感でしょうが、私たちの選挙戦での目的が樋高候補の当選に限らず、政権交代を目指したのだから、その点いまだ志ならぬの思いです。

何が足りなかったのか。

今回の「manifesto」選挙では、細川政権以来の10年の成果である・manifestoの提示・自由党と民主党の合併で、『ボールは有権者に投げられて』いたわけですから、民主党の力不足、ということは私達有権者の言うべき言葉ではないでしょう。

政治家と有権者をつなぐ層の未成熟と力不足のことこそ、私達の反省点とするべきことだと考えています。

選挙に参加しての感想 K. H(メーカー勤務)

「樋高当選！」の速報に胸をなでおろした気持ちでした。今まで改革のうねりをつくり出した松沢県知事、中田市長の改革の波をここで断ち切らせてはならないという思い、立候補表明して日が浅いという樋高候補の悪条件をなんとか克服して、改革の波をつなげていきたいという思いを抱いたのは、私一人ではなかったと思ひます。

「政権選択選挙」とか「manifesto選挙」といわれていたが、街頭でも、今までビラ等を取らなかつたような茶髪の若者や若いご夫婦もmanifestoを取りにくる状況があり、政策で考えてみようという有権者の成熟が感じられました。

選挙期間中は、名簿での電話かけの仕事を受け持ちました。manifestoを読んでいる人は、私の実感では半分くらいはいたように思ひます。また、相手からの年金問題に対する質問も多く、民主党と自民党とのmanifestoの違いがストンと入っていきました。

しかし、自民党内が内部分裂したという条件が樋高氏にプラスに働いたこともあり、次点候補と7千票弱の差での当選となりました。今回投票して下さった方、また誰に入れようか迷って結局行かなかつた方、社民党や共産党に入れていた方で今回悩んでいた方、公明党の方はどうされたのか、等々。今後の課題は山積み。

もう、次にむけた組織戦がはじまっています。「市政に参加する会」の参加者として、今回の成果を蓄積していくよう努力したいと思ひます。

選挙に参加して T. Y(イラストレーター)

選挙のボランティアへの参加は4月の堀添市議の選挙以来となります。衆議院総選挙ということで小沢氏、田中氏、松沢氏と沢山の方がこの溝の口駅へ来られました。さて、私の今回の選挙での感想ですが、とにかく若い方の関心が高くて、私のところへ「民主党のmanifestoください！」と本当に多くの若者がやってきました。特に、渋谷系ファッションのお兄ちゃん達が貫いに来て下さったのは非常に印象に残っています。また、本当に生活の苦しい方が、この溝の口には非常に多いという印象が非常に強かったです。小泉内閣への不満を私のような若造ボランティアに5分間！5分間もですよ？嘆願をされる方が多く、その内容を是非とも候補に知らせて欲しいとのことでしたのでメールで樋高氏のほうへご要望をお送りいたしました。樋高氏もしっかり読んで下さって当方へお返事も頂きました。高津・宮前の市民の為にも樋高議員には国会で頑張ってください。

有権者の今後の課題 M. K(特許事務所勤務)

来年夏の参議院選挙までの有権者の課題は、第1に与党自民党の「manifesto」実現の監視であり、第2に民主党の「manifesto」を政権交代可能なより具体的でよりわかり易いものに進化させることに参加することであると思ひます。私たち有権者は、今年春の統一地方選での「manifesto」登場と、「政権選択選挙」への進行を経験する中から、失われた10年が「小選挙区制の導入から二大政党制・政権選択選挙の準備期間」となることを実感しているのではないだろうか。

第6回「川崎市政に参加する会」のご案内

私たちの住む川崎市を「安心して暮らせるまち」にしていくためには、私たちの手でもっともっと変えていかなければならないと思います。

一人一人の主権者の皆様とともに、新しい川崎市のあり方について、勉強し、議論し、実行していく場として、「川崎市政に参加する会」を開いています。

毎月、その時々にあったテーマを設定し、開催しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第6回 11月22日 てくのかわさき
「総選挙で国民は何を選択したか」

第7回 12月23日 高津市民館
「川崎のゴミ行政を考える」

日時：2003年11月22日（土）
午後1時半から4時まで。

場所：てくのかわさき

溝の口駅徒歩5分 044-812-1090
 （マルイの先です。神奈川県合同庁舎隣）



新事務所のご案内

新しく事務所を開設致しました。溝の口駅
 徒歩2分、高津区役所隣のビルです。
 ぜひお気軽にお立ち寄りください。

〒213-0033
 川崎市高津区下作延266番地
 エスビル4階
 電話：044-855-1479
 FAX：044-855-1489

電子メール：horiken@horizoe.com
 Web：http://www.horizoe.com



政治資金ご寄付のお願い

地元から日本改革を実現するために、皆様の温かい
 ご支援をお願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
 銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294

第四三回衆議院議員総選挙が終わった。五
 九・八六パーセントという予想外の低投票
 率の中、民主党が改選時より40議席増や
 したのには善戦と言えるだろう。しかし、こ
 れだけ「政権選択選挙」とマスコミで喧伝
 されたにもかかわらず、投票に行く層の中
 で投票行動に変化があったもの、投票に
 行かない層との二極化がさらに進んでいる
 ように思えて気が二極化だ。政治に関する情
 報にアクセスする（できる）人々、そう
 しない（できない）人々、いつそう分
 化していついていっているのではない。例
 のニュースでも、ポスティングが許されな
 いマンションがときにある。「政治的なも
 のは一切禁止。いろいろな意見の人が住ん
 でのいるので」と言われたこともある。しか
 し、いろいろの意見があるからこそ、一律
 ポストに入れるのは禁止というものが必
 要かどうかは、ポストに入っているものが必
 要ではないだろうか。「各党の主張は、イ
 ンターネットで見るといい」という人も
 いるだろう。しかし、それが可能でない人
 もいるはずだ。他者の状況に思いをめぐら
 せることがなければ、やがて自分の権利も
 奪われることになるだろう。もちろん政治
 家側も、より多くの人に政策を伝える努力
 をすべきだが、有権者の側もただ待ってい
 るだけでは不十分だ。そんな中、四月の
 統一地方選に引き続き、候補者参加による
 討論会が開かれたことは特筆に値する。積
 極的に情報を得よう、さらにそれをより多
 くの人に紹介しようとする場が、市民の側
 から設定されたのだ。主催者の苦労は大き
 かったと思う。来夏には参議院選挙が行な
 われる。私たちも、そうした場の準備に関
 わったり、周りの人を誘って参加したりす
 ることが必要だろう。／今回、「マニフェ
 スト」による論議で、政治的関心は確かに
 一定程度高まった。しかし、用意されたメ
 ニューから選ぶだけならば、主権者として
 十分とは言えない。引き続き支持政党の政
 策に注目し、それをより豊かにする働きか
 けを行なうとともに、政権与党については
 その実現の度合いをしっかりと監視しなく
 はならない。選挙が終わってスタートをき
 るのは選ばれた政治家だけでなく、私たち
 有権者でもあるのだ。
 （事務局ゆ）